

# 発掘新聞

9月17日号

発掘速報展 2012

開催中不定期発行

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575

# 齋部 1号墳発掘開始

技術主査



写真中央の齋部技術主査と比べると、皿山古墳群1号墳の大きさが良く分かる = 当館撮影

上毛町皿山古墳群の大型円墳、齋部技術主査が築造の謎に迫る

現在当館が行っている東九州自動車道関係の発掘調査で、また一つ大きな出来事があった。その出来事とは、現状で直径約28m、高さ約5mを測る大型円墳である、上毛町の皿山古墳群1号墳の発掘調査を、当館の齋部技術主査が開始したところである。

皿山古墳群は、大分県境に流れる山国川の左岸、標高40〜55m前後の丘陵上に位置し、北西側には国史跡の装飾古墳である穴ヶ葉山古墳がある。これまで丘陵の西端で5基、東端で2基の古墳が確認されており、全てが円墳と呼ばれる、円形の墳丘を持つ。昨年度から調査を開始し、これまで小型の古墳から耳環やガラス小玉などが発見された。

今回発掘を開始した1号墳は、豊前海を望む丘陵の最も高い部分に立地しており、その規模からも本古墳群の中でも特別の地位にあった人が葬られていたと推測される。1号墳の横穴式石室内はすでに盗掘を受けており、副葬品などはほとんど発見されなれないと思われるが、今後墳丘を中心とする調査で、大型の古墳をどのようにして造ったかなどの、築造に関する情報を得られる可能性がある。

また今年度からは、齋部技術主査に加え、発掘調査歴40年以上の大ベテランである当館OBの佐々木調査指導員も調査に加わり、調査成果がますます期待される。

この成果は、来年度の発掘速報展、発掘報告会で公表する予定なので、ご期待ください。(大庭孝夫記者)



頑張るOB 当館OBの佐々木発掘指導員(右端、65)も片道2時間通勤し、齋部技術主査(中央)とともに発掘調査を行っている。

次号も不定期発行ですが、最終号として、9月23日に延期開催される「こども考古学体験教室2012」を取材する予定です。

**突然ながら、次号で休刊宣言**

この「発掘新聞」も今号で6号を数えますが、発行人担当の発掘現場が遺構満載で、取材に行く時間がとれなくなったことなどから、残念ながら次号で休刊することになりました。最終号ご期待ください。